

慶雲寺報

◎NEWS

* 本堂屋根葺替工事竣工

ご報告が遅くなりました。既に盂蘭盆会を前に、無事銅板の屋根に葺き上がり、8月のお盆／9月の秋彼岸会とお参りの方々をお迎えいたしました。工事中は、何かとご迷惑をおかけいたしましたこと、改めてお詫び申し上げます。

新しい屋根は、銅板の横一文字葺きとなりました。

瓦葺きの時の下り棟や隅棟が無くなり、すっきりした意匠となっております。

本工事に併せ、以前の鬼瓦を境内の一角に記念碑として設置し、本堂正面にある「慶雲禅寺」と記された木製の額の塗り直しをいたしましたので、ご報告申し上げます。



寺報でお願い申し上げていた篤志寄付金も、多くの額をお供えいただきました。

寄せられた篤志寄付金をもって、雨漏りで傷んでいた堂内一部天井の張り替え(集成材 無垢材)に充てさせていただきました。堂内入口上の格天井が清らかに、そして明るくなりましたので、お参りの際どうぞご覧下さいませ。

功德主各位の先祖菩提／家内安全／諸縁吉祥を祈念し、紙上より深く御礼申し上げます。拝。

* 大本山總持寺二祖大遠忌 無事円成



横浜鶴見の大本山總持寺の二代目さま「峨山韶碩禅師の650回忌の大遠忌が、去る10月20日の正当法要をもって無事円成いたしました。

多くの優れた門弟を育てられ曹洞宗発展の基礎を築かれた峨山禅師さまのご恩に報いるべく、全国よりたくさんの方丈様、檀信徒の皆様がお参りに見えられました。10月12日には、NHK【ひるぶら】で《總持寺50年に1度の大法要！》横浜市鶴見区〜と題されて生放送されるなど、地域の方々と共に営まれた大遠忌でした。



< 大本堂前でドローンによる記念撮影 >

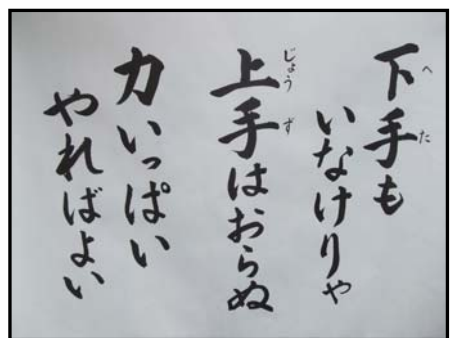
修行時代のご縁で、10月7日から20日までの本法要期間中、住職も報恩のお手伝いに「本山に足を運んでおりました。

9年後「来たる平成36年は、御開山・瑩山(けいざん)禅師さまの700回忌の大遠忌を迎えます。皆さまと共に報恩の誠を捧げたいと存じます。

尚、今年の施食会のお供物は、大遠忌にちなんだ品を予定しております。どうぞお楽しみに

◎伝道揭示板から

「そりや和尚さん！得意や苦手なことはあるし、下手くそより上手な方がイイじゃない？」



「下手くそより上手な方がイイじゃない？」という声が聞こえてきそうです。確かに「もっとも！私だって上手」と評価されるのは嬉しいものです。しかし、「力を尽くす」ということを考えると、得意苦手であつたりという見立てが邪魔をしてしまつことはないでしょうか？

禅の教えに【随处作主(隨所に主となる)】という言葉があります。どんな場所どんな時でも、自らが主人公として精一杯に力を尽くす姿勢を尊びます。得意苦手／上手下手の見立てで縮こまってしまうよりも、つま先だけでなくグツと全体重を移動して事に臨む…。自らが主体的に歩むことによつて新たな世界が広がってくるはずだ！と、背中を押されているような気がします。

まずは精一杯。評価はあとからついてくる。自分自身にも言い聞かせていこうと思ひます。

◎山門大施食会が行われます

来月、11月16日(月)午後1時半より、慶雲寺施食会(せじきえ)法要が営まれます。

檀信徒各家の先祖供養のこの日、お時間お繰り合わせいただき、お参りのうえお塔婆をお受けください。